

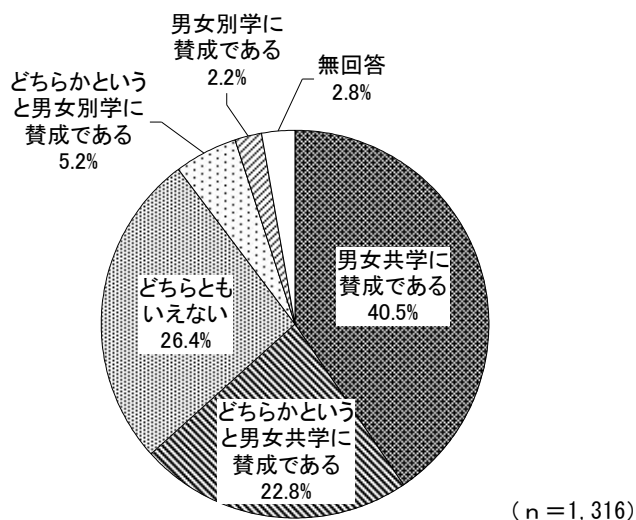
## 9 県立高校の男女共学・別学について

### (1) 男女共学と男女別学に対する考え

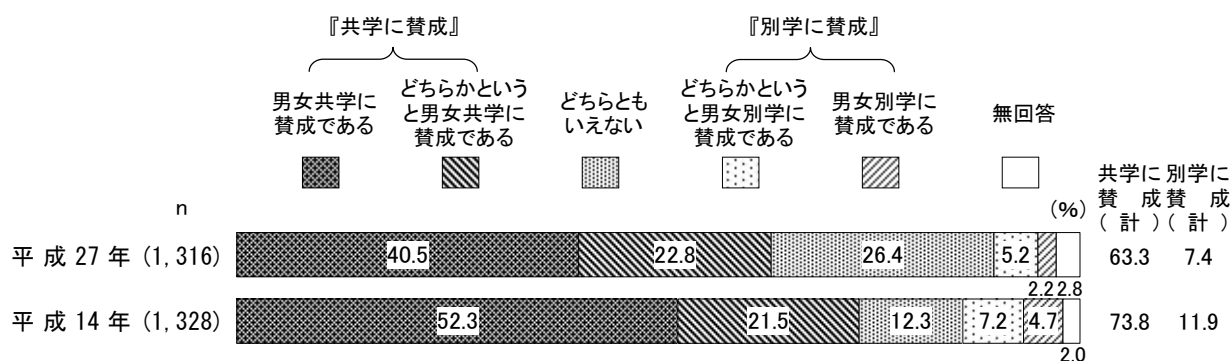
問31 男女共学と男女別学のどちらの考え方に賛成ですか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,316]

1	男女共学に賛成である	40.5%
2	どちらかという と男女共学に賛成である	22.8
3	どちらとも いえない	26.4
4	どちらかという と男女別学に賛成である	5.2
5	男女別学に賛成である	2.2
	(無回答)	2.8

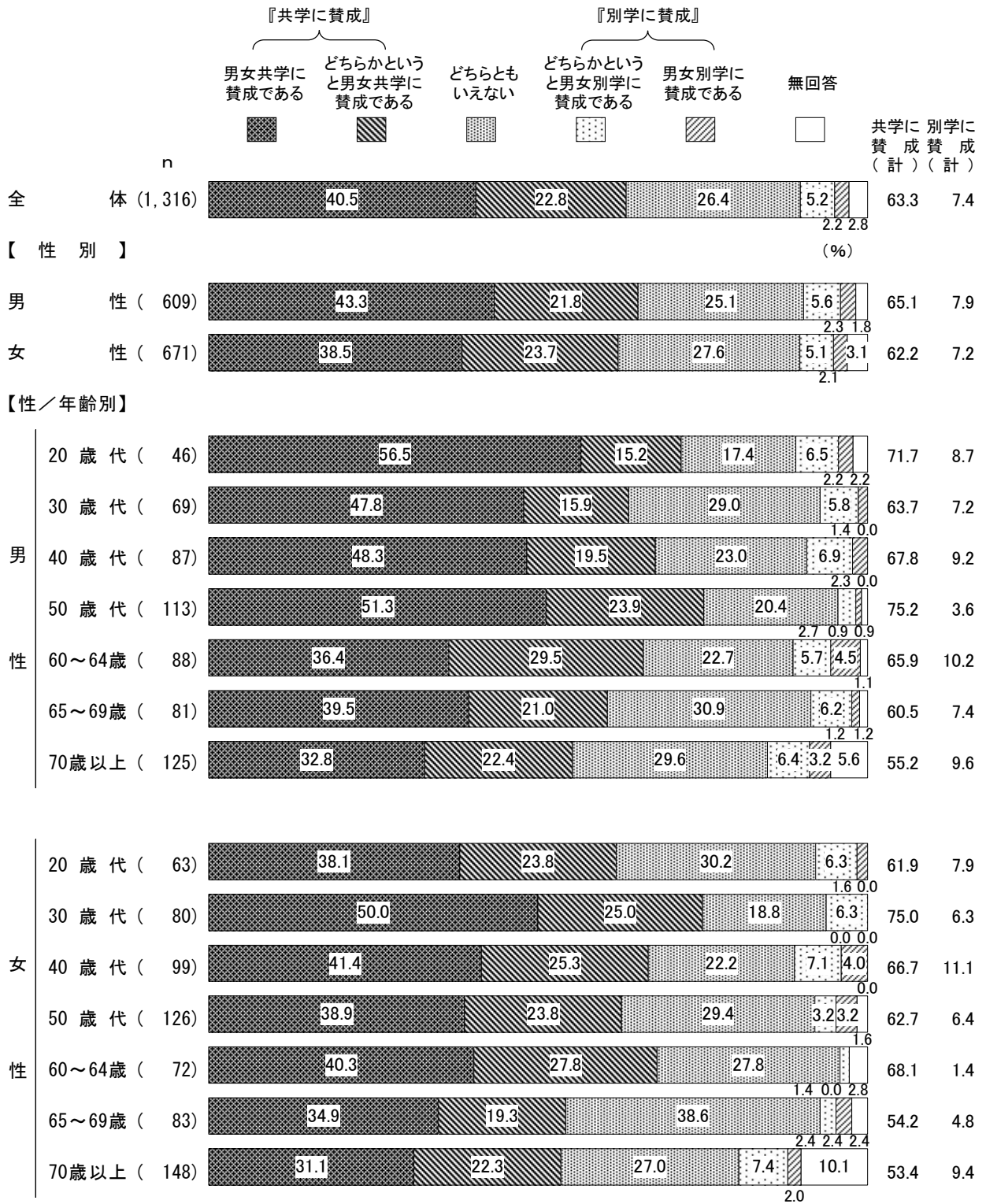


全体でみると、「男女共学に賛成である」(40.5%)と「どちらかという  
と男女共学に賛成である」(22.8%)の2つを合わせた『共学に賛成』(63.3%)は6割を超えている。一方、「どちらかという  
と男女別学に賛成である」(5.2%)と「男女別学に賛成である」(2.2%)の2つを合わせた『別学に賛成』は7.4%となっている。



平成14年の調査結果と比較すると、『共学に賛成』が10.5ポイント減少している。

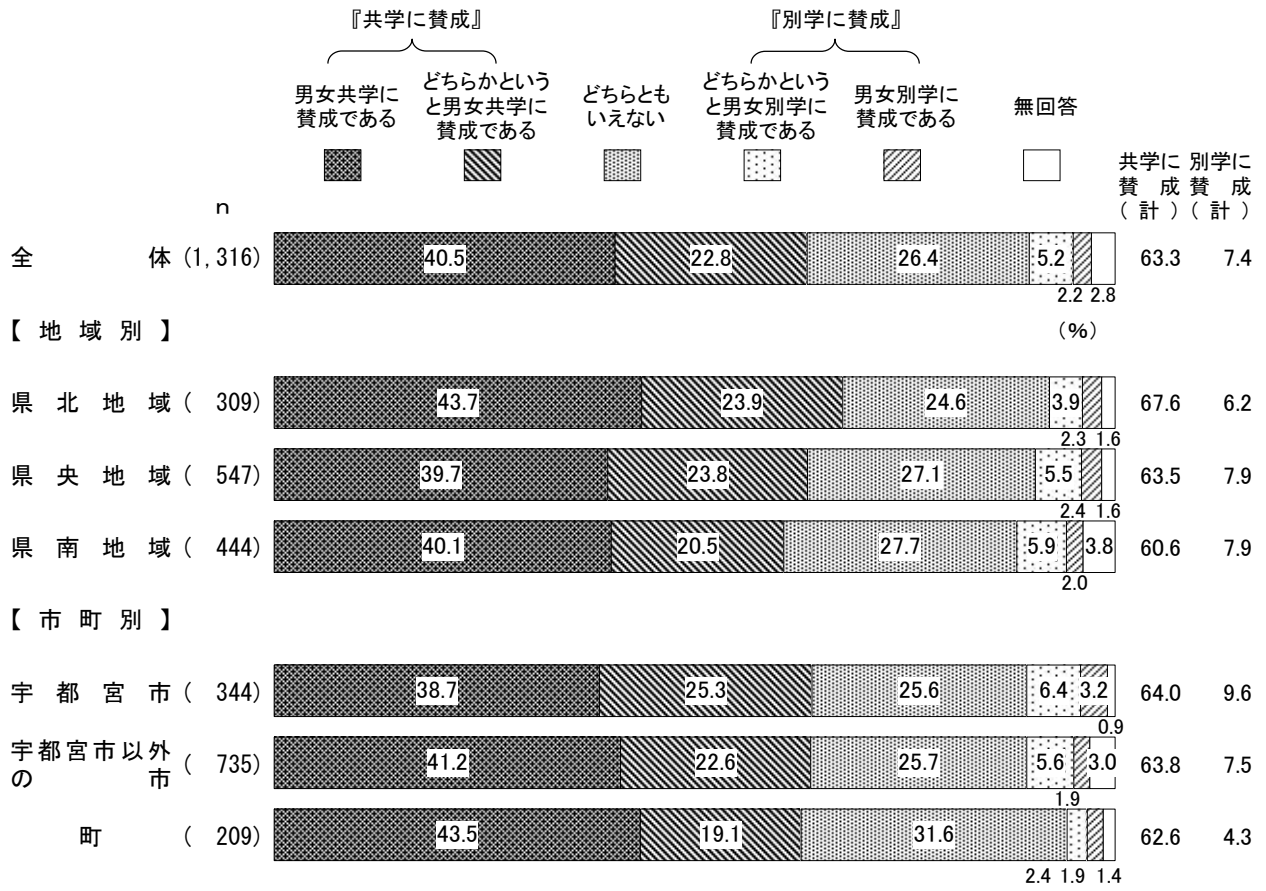
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『共学に賛成』では〈男性〉(65.1%)が〈女性〉(62.2%)より2.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『共学に賛成』では〈男性50歳代〉が75.2%、〈女性30歳代〉が75.0%と高くなっている。

[地域別・市町別]



地域別でみると、『共学に賛成』では〈県北地域〉が67.6%と高くなっている。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

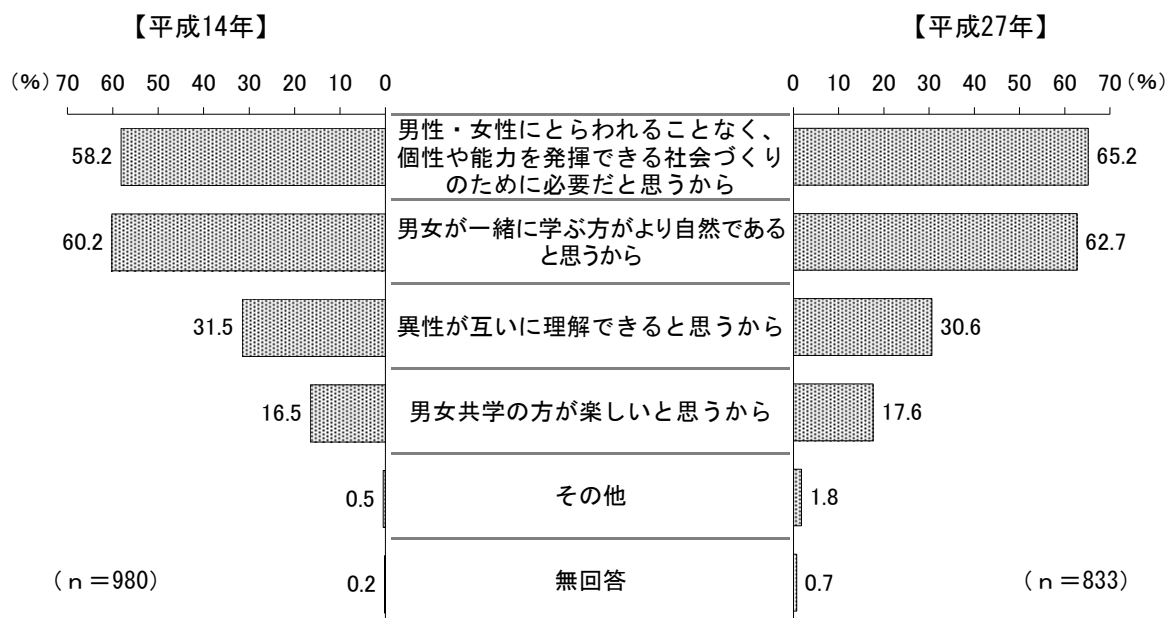
## (2) 男女共学に賛成する理由

(問31で選択肢「男女共学に賛成である」、「どちらかというとな男女共学に賛成である」を選んだ方のみお答えください)

問31-1 共学に賛成する主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

[n=833]

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 1 | 男女が一緒に学ぶ方がより自然であると思うから                       | 62.7% |
| 2 | 男性・女性にとらわれることなく、個性や能力を発揮できる社会づくりのために必要だと思うから | 65.2  |
| 3 | 異性が互いに理解できると思うから                             | 30.6  |
| 4 | 男女共学の方が楽しいと思うから                              | 17.6  |
| 5 | その他  | 1.8   |
|   | (無回答)  | 0.7   |

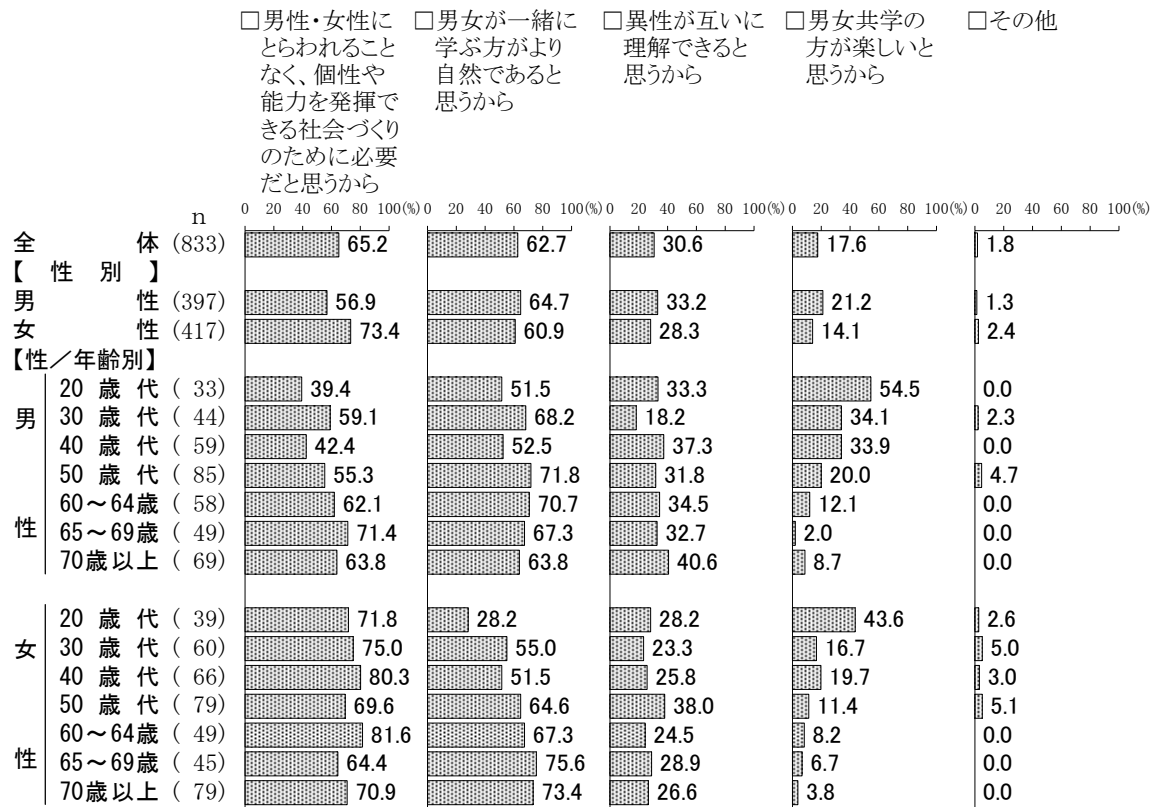


※平成14年では「異性が互いに理解できると思うから」は「男性と女性の特性が理解できると思うから」としていた。

全体で見ると、「男性・女性にとらわれることなく、個性や能力を発揮できる社会づくりのために必要だと思うから」(65.2%)が6割半ばで最も高く、次いで「男女が一緒に学ぶ方がより自然であると思うから」(62.7%)、「異性が互いに理解できると思うから」(30.6%)、「男女共学の方が楽しいと思うから」(17.6%)の順となっている。

平成14年の調査結果と比較すると、「男性・女性にとらわれることなく、個性や能力を発揮できる社会づくりのために必要だと思うから」が7.0ポイント増加している。

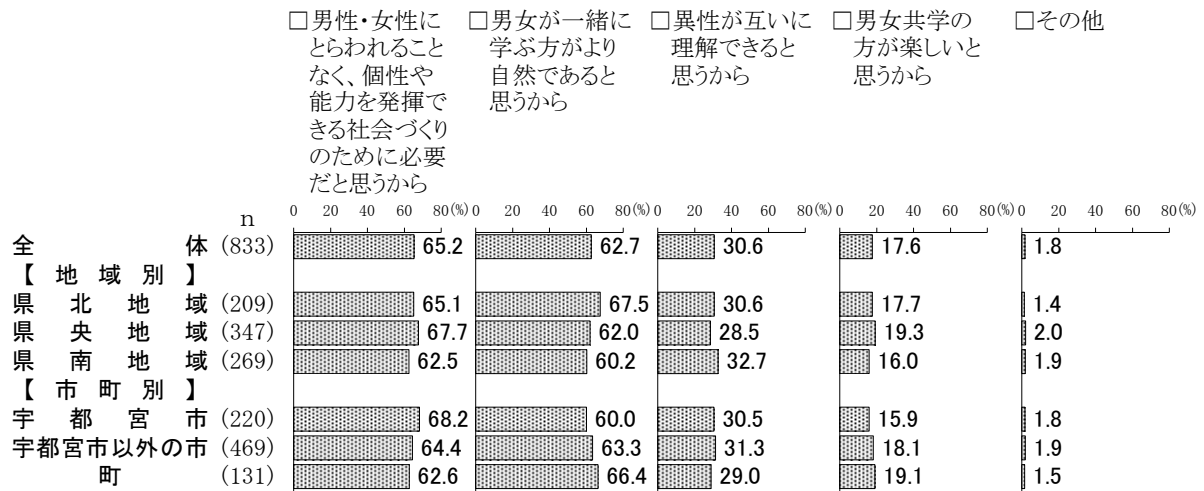
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「男性・女性にとられることなく、個性や能力を發揮できる社会づくりのために必要だと思うから」では〈女性〉(73.4%)が〈男性〉(56.9%)より16.5ポイント高くなっている。「男女共学の方が楽しいと思うから」では〈男性〉(21.2%)が〈女性〉(14.1%)より7.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「男性・女性にとられることなく、個性や能力を發揮できる社会づくりのために必要だと思うから」では〈女性60~64歳〉が81.6%、〈女性40歳代〉が80.3%と高くなっている。「男女が一緒に学ぶ方がより自然であると思うから」では〈女性65~69歳〉が75.6%、〈女性70歳以上〉が73.4%と高くなっている。「男女共学の方が楽しいと思うから」では〈男性20歳代〉が54.5%、〈女性20歳代〉が43.6%と高くなっている。

[地域別・市町別]



地域別でみると、「男女が一緒に学ぶ方がより自然であると思うから」では〈県北地域〉が67.5%と高くなっている。

市町別でみると、「男性・女性にとられることなく、個性や能力を發揮できる社会づくりのために必要だと思うから」では〈宇都宮市〉が68.2%と高くなっている。「男女が一緒に学ぶ方がより自然であると思うから」では〈町〉が66.4%と高くなっている。

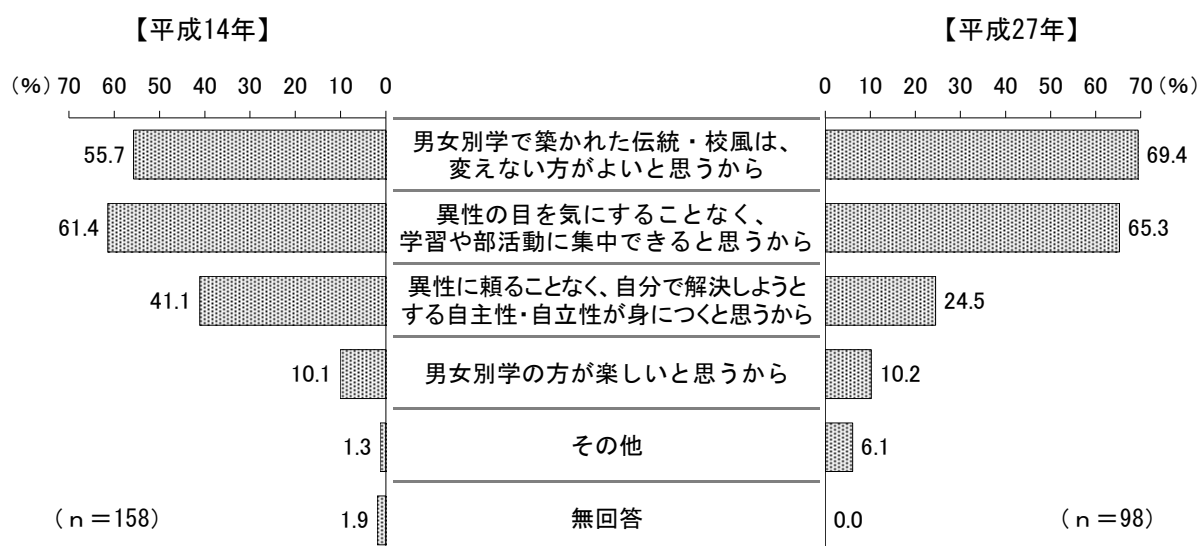
### (3) 男女別学に賛成する理由

(問31で選択肢「どちらかというとな男女別学に賛成である」、「男女別学に賛成である」を選んだ方のみお答えください)

問31-2 別学に賛成する主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

[n=98]

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 1 | 異性の目を気にすることなく、学習や部活動に集中できると思うから        | 65.3% |
| 2 | 異性に頼ることなく、自分で解決しようとする自主性・自立性が身につくと思うから | 24.5  |
| 3 | 男女別学で築かれた伝統・校風は、変えない方がよいと思うから          | 69.4  |
| 4 | 男女別学の方が楽しいと思うから                        | 10.2  |
| 5 | その他                                    | 6.1   |



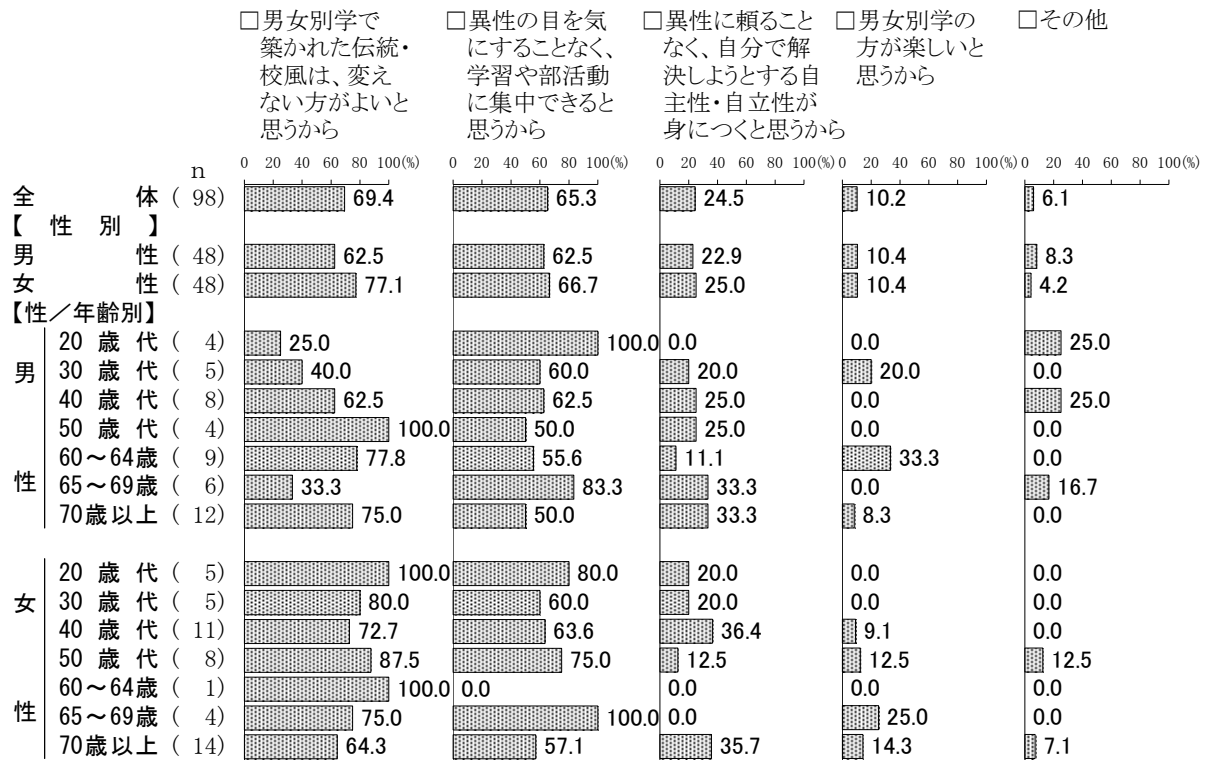
※平成14年では「異性に頼ることなく、自分で解決しようとする自主性・自立性が身につくと思うから」は「異性に頼ることなく、何事も自分で解決しようとする自主性・自立性が身につく、個々の能力を發揮できるようになると思うから」としていた。

※平成14年では「男女別学で築かれた伝統・校風は、変えない方がよいと思うから」は「男女別学で築かれた伝統・校風にはそれぞれ魅力があり、変えない方がよいと思うから」としていた。

全体で見ると、「男女別学で築かれた伝統・校風は、変えない方がよいと思うから」(69.4%)がほぼ7割で最も高く、次いで「異性の目を気にすることなく、学習や部活動に集中できると思うから」(65.3%)、「異性に頼ることなく、自分で解決しようとする自主性・自立性が身につくと思うから」(24.5%)、「男女別学の方が楽しいと思うから」(10.2%)の順となっている。

平成14年の調査結果と比較すると、「異性に頼ることなく、自分で解決しようとする自主性・自立性が身につくと思うから」が16.6ポイント減少している。一方、「男女別学で築かれた伝統・校風は、変えない方がよいと思うから」が13.7ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]

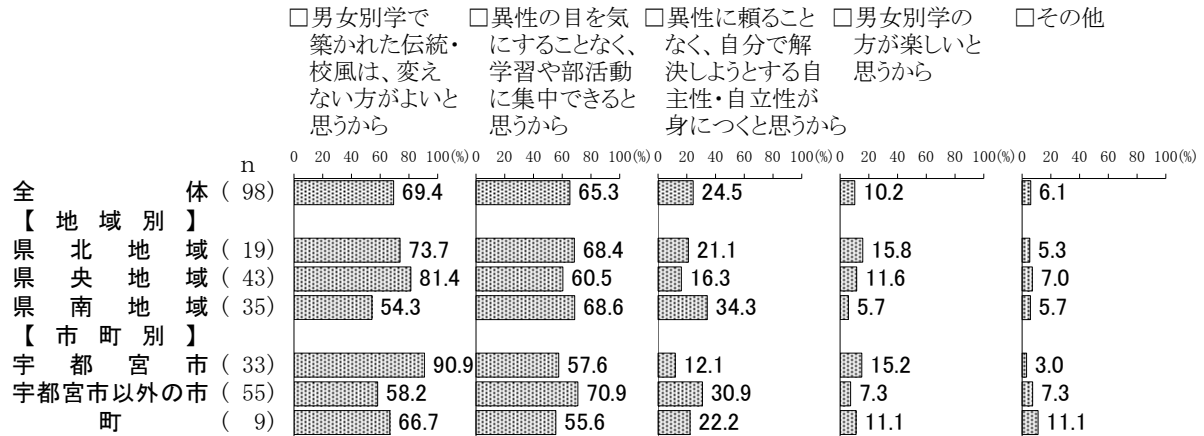


性別でみると、「男女別学で築かれた伝統・校風は、変えない方がよいと思うから」では〈女性〉(77.1%)が〈男性〉(62.5%)より14.6ポイント高くなっている。

性／年齢別は基数が少ないため参考までに図示する。



[地域別・市町別]



地域別でみると、「男女別学で築かれた伝統・校風は、変えない方がよいと思うから」では〈県央地域〉が81.4%と高くなっている。「異性に頼ることなく、自分で解決しようとする自主性・自立性が身につくと思うから」では〈県南地域〉が34.3%と高くなっている。

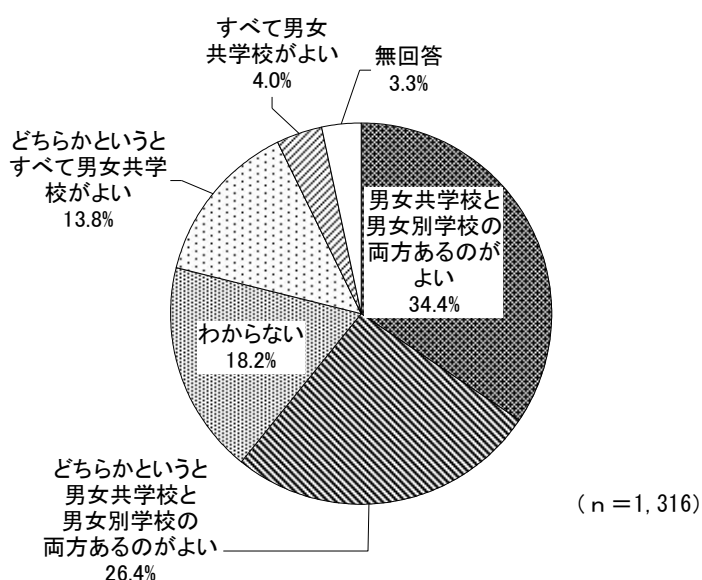
市町別でみると、「男女別学で築かれた伝統・校風は、変えない方がよいと思うから」では〈宇都宮市〉が90.9%と高くなっている。「異性の目を気にすることなく、学習や部活動に集中できると思うから」では〈宇都宮市以外の市〉が70.9%と高くなっている。「異性に頼ることなく、自分で解決しようとする自主性・自立性が身につくと思うから」では〈宇都宮市以外の市〉が30.9%と高くなっている。

#### (4) 県立高校の今後のあり方に対する考え

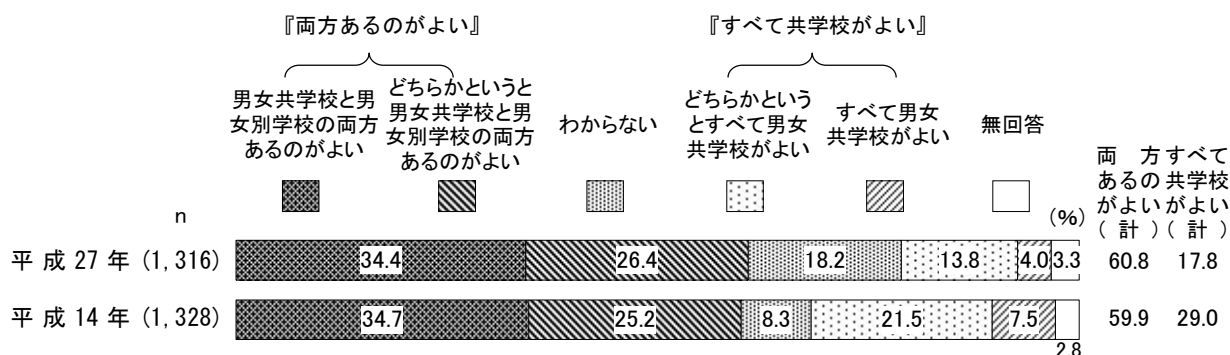
問32 現在、栃木県内には共学校48校、男子校5校、女子校6校の全日制県立高校がありますが、本県の県立高校の今後のあり方についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,316]

1	男女共学校と男女別学校の両方あるのがよい	34.4%
2	どちらかというとなら男女共学校と男女別学校の両方あるのがよい	26.4
3	わからない	18.2
4	どちらかというとなら男女共学校がよい	13.8
5	すべて男女共学校がよい	4.0
	(無回答)	3.3

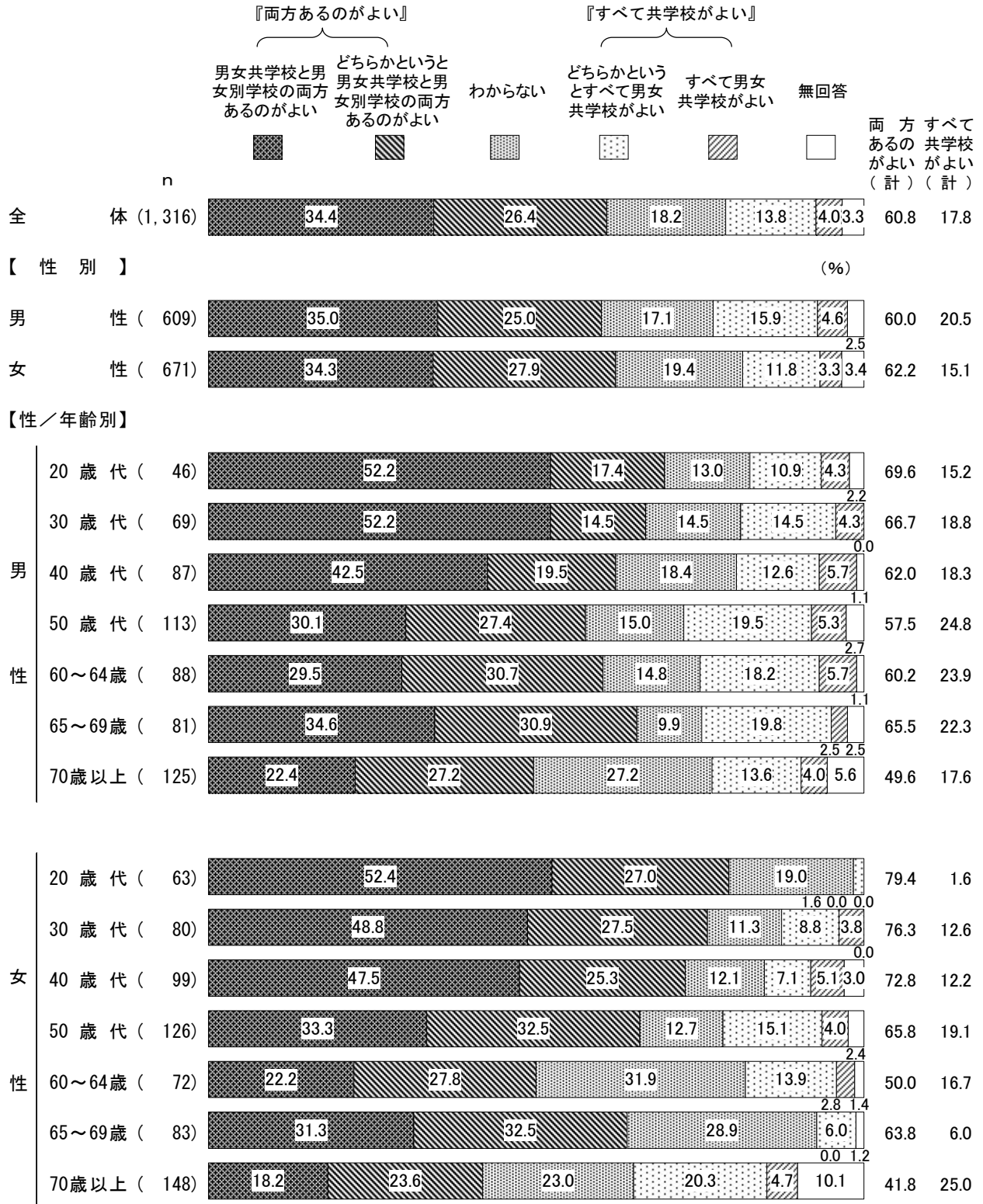


全体でみると、「男女共学校と男女別学校の両方あるのがよい」(34.4%)と「どちらかというとなら男女共学校と男女別学校の両方あるのがよい」(26.4%)の2つを合わせた『両方あるのがよい』(60.8%)はほぼ6割となっている。一方、「どちらかというとなら男女共学校がよい」(13.8%)と「すべて男女共学校がよい」(4.0%)の2つを合わせた『すべて共学校がよい』(17.8%)は2割近くとなっている。



平成14年の調査結果と比較すると、『すべて共学校がよい』が11.2ポイント減少している。

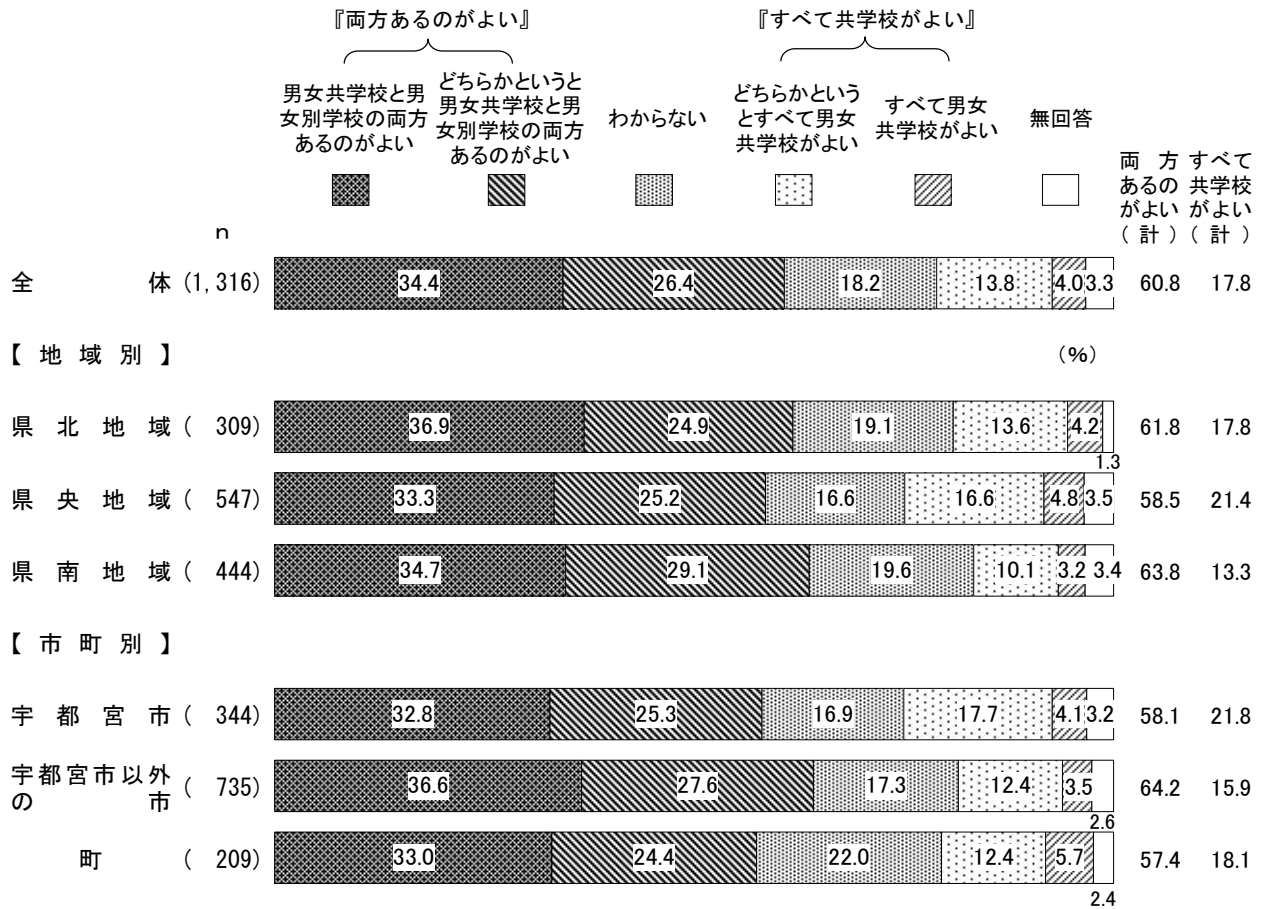
【性別・性／年齢別】



性別でみると、『すべて共学校がよい』では〈男性〉(20.5%)が〈女性〉(15.1%)より5.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『両方あるのがよい』では〈女性20歳代〉が79.4%、〈女性30歳代〉が76.3%と高くなっている。『すべて共学校がよい』では〈女性70歳以上〉が25.0%、〈男性50歳代〉が24.8%と高くなっている。

[地域別・市町別]



地域別でみると、『すべて共学校がよい』では〈県央地域〉が21.4%と高くなっている。

市町別でみると、『両方あるのがよい』では〈宇都宮市以外の市〉が64.2%と高くなっている。『すべて共学校がよい』では〈宇都宮市〉が21.8%と高くなっている。